

平成 25 年度 第 22 回 特別展
活字文化の中で生きる機械技術
－ わが国で活躍したタイプライターの変遷とメカニズム －

1. 展示内容

活字は、活版印刷の際に木・金属などに字形を刻み、文字の図形を対象物にインクを付けて印字する基となるもので、金属の鑄造活字は高麗(918-1392)で始まったとされ、鉛合金を使用したグーテンベルグ(1398-1468)が活版印刷技術を考案し、その機器の実用化に成功している。

印刷技術は、私達の生活に欠くことの出来ない技術のひとつとされている。大量に印刷されて配布されている多種多様な印刷物は、それぞれの時代ごとの最新技術を駆使して開発・実用化されて大規模な生産工場で作られている。また、その反面、個人が容易に「美しい活字」を印刷する機械として、18世紀にタイプライターが開発され、19世紀中ごろになると、ビジネス通信文書の急増から、特に、文章作成を機械化する需要が高まった。

タイプライターは、20世紀の機械製造技術の発達を背景にして、小型化・軽量化・電動機化が進み、事業所での使用に留まらず、一般家庭にも普及して、「美しい文字」を書く身近な「機械」のひとつとなった。

そこで、本特別展では、10世紀から継承され、一般家庭に浸透した印刷技術としてのタイプライターを展示・紹介することにより、機械技術の創造と応用の原点を研鑽し、機械の「美しさ」をも感じてもらうことを目的とする。

- 2. 主 催** 日本工業大学工業技術博物館
- 3. 協 賛** 日本工業大学工業技術博物館後援会
- 4. 協 力**
- 5. 開催期間** 平成 25 年 11 月 2 日(土) ～ 11 月 23 日(土)
- 6. 場 所** 日本工業大学工業技術博物館 2階展示場
- 7. 入 場 料** 無料

8. 展示内容

- (1) 海外製欧文タイプライター
- (2) 国内製欧文タイプライターとカナタイプライター
- (3) 障害者用欧文タイプライター
- (4) 点字用タイプライター
- (5) 当時の広告・ポスター

9. 講演会

日時 / 11月20日(水) 午後4時40分より6時まで
場所 / 日本工業大学 学友会館 ホール
演題 /
講師 /

10. 広報活動

テレビ・新聞・雑誌社に対するパブリシティ活動を行うほか専門誌に対する広告掲載を行いません。
また、ポスター・パンフレットを作成し、関係各所に配布いたします。